

M2017.6.3 自殺防止ソング歌詞、審査会

毎 日 新 聞

神奈川 2017年(平成29年)6月3日(土)

自殺防止ソング歌詞、審査会

厚生労働省などが自殺防止のために進めている「ゲートキーパーのテーマソング」作りで、小児がんと闘いながら作曲活動を続け、16歳で亡くなった加藤旭さん（故人）の曲に乗せる歌詞の審査会が2日、東京都内で開かれた。

歌詞は2月から4月に公募し、全国から約120作品の応募があった。この日は審査員を務める作曲家の池辺晋一郎さん、小説家の平野啓一郎さん、歌手の加藤登紀子さん、音楽プロデューサーの生駒龍之介さんらが集まり、優秀作品の選出について話し合った。

絞り込まれた作品は今後、池辺さんが合唱曲に編曲し、8月末に発表される予定。合唱団が歌手が歌う作品はCDにし、自治体に配布する。池辺さんは「公募への多くの反響を生かしながら、子ども頃からよく知っている旭さんの心を

応募作品について議論する審査員たち＝厚生労働省提供

全国から120作品応募

16歳で亡くなった 加藤さんの曲に乗せ

「ゲートキーパー」は、自殺の兆候に気付き、声をかけたり話を聞いたりし、必要な支援につなげる人を指す。テーマソング作りは、ゲートキーパーの意識を広めようと厚生労働省が企画し、加藤さんにピアノを教えた三谷温さん率いる音楽活動団体「アーツスプレッド」などの協力を得て実現した。【宇多川はるか】

